



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <http://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト及び機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,724	6.6	1,604	1.2	1,477	△0.1	1,003	16.2
29年3月期第3四半期	27,886	3.4	1,585	16.3	1,479	14.7	863	30.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,018百万円 (15.2%) 29年3月期第3四半期 884百万円 (34.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	40.45	39.99
29年3月期第3四半期	38.72	38.28

(注) 当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,735	9,796	44.6
29年3月期	20,835	9,060	43.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,702百万円 29年3月期 8,979百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	35.00	35.00
30年3月期	ー	0.00	ー		
30年3月期(予想)				12.67	12.67

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は38円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,811	7.3	2,279	19.9	2,109	17.6	1,231	13.5	49.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	24,816,486株	29年3月期	24,816,486株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	168株	29年3月期	102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	24,816,354株	29年3月期3Q	22,308,156株

（注）当社は、平成29年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな金融環境や経済対策の影響を背景に、内需を中心に企業収益が堅調に推移し、雇用・所得環境の着実な改善のもと、個人消費も底堅く推移するなど、全体としては緩やかな持ち直し基調となっております。一方海外においては、米国における経済政策運営や欧州における英国のEU離脱問題、新興国・資源国経済の動向など引き続き先行き不透明な状況が続いております。

介護サービス業界においては、引き続き高齢化が進むなか、介護サービスの需要は高まっています。一方で、サービスを担う人材の確保は依然厳しい状態が続く、業界にとって大きな課題となっております。また、要支援者に対する介護予防訪問介護や介護予防通所介護のサービスについて、市町村主導で地域において支え合うことができる体制づくりを推進する「介護予防・日常生活支援総合事業」への移行がいよいよ今年度末に完了するという時期を迎え、軽度者に対するサービス市場の変化が本格化しております。さらに、平成30年4月には介護報酬と診療報酬の同時改定を控え、業界内における事業構造の選択に基づく集客力・収益力等の優劣明確化が進むと予測されます。こうした中、国を挙げての業界支援策として、安倍内閣の「ニッポン一億総活躍プラン」に基づく介護サービス体制の整備や介護人材の確保・育成に向けた施策が進められ、さらに平成29年4月に行われた介護報酬改定においては、介護職員の処遇改善のための財源が増加されるなど、介護の環境整備、人材確保のための取り組みが進められております。

このような状況のもと、当社グループでは、「ずっとお家プロジェクト」を掲げ、在宅で生活される方へのより高度な支援を目指しております。具体的な対応として、既存の事業所において、サービス提供体制の見直しを行い、中重度・認知症のお客様への対応を強化、介護保険法に定める各種加算の取得を拡げる動きを進めてまいりました。また、新たな投資を訪問看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護に集中することで、お客様の医療ニーズへの対応を強化し、住み慣れた地域での在宅生活の継続を可能にするサービス提供体制の構築を着実に進めております。この他にも、看護師・介護福祉士等の専門職を中心とした採用・育成活動に注力するなど、より質の高いサービス体制の確保に努めてまいりました。

この結果、売上高は297億24百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は16億4百万円（同1.2%増）、経常利益は14億77百万円（同0.1%減）、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3百万円（同16.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

## ・介護サービス事業

訪問系サービスにおいては、訪問看護において新規お客様の獲得が進み、株式会社ミレニアの連結子会社化もあり売上高が大きく増加したものの、訪問入浴において人材確保に費用が増加しました。一方施設系サービスにおいては、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の新規開設によりお客様数が増加したことで、売上高が増加しました。その結果、売上高は290億54百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は13億65百万円（同0.9%増）となりました。

## ・その他

その他では、セントワークス株式会社における介護保険請求ASPシステムの販売事業が順調に推移した他、人材派遣事業の収益力が改善いたしました。一方で、平成29年6月にメディシンショップ・ジャパン株式会社の全株式を売却したことにより売上高及び利益が減少しました。その結果、売上高は10億3百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は1億29百万円（同33.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より8億99百万円（前期末比4.3%）増加し、217億35百万円となりました。

流動資産は、前期末より6億40百万円（同6.4%）増加し、106億6百万円となりました。これは主に売掛金が7億46百万円、流動資産「その他」に含まれております未収入金が2億24百万円増加した一方で、現金及び預金が3億32百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より2億59百万円（同2.4%）増加し、111億28百万円となりました。これは主に有形固定資産が1億44百万円、投資その他の資産が96百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より2億76百万円（同5.2%）増加し、55億75百万円となりました。これは主に未払金が4億32百万円、流動負債「その他」に含まれております預り金が2億26百万円増加した一方で、賞与引当金が2億78百万円、1年内返済予定の長期借入金が88百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より1億12百万円（同1.7%）減少し、63億63百万円となりました。これは主に長期借入金が1億16百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より7億36百万円（同8.1%）増加し、97億96百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億7百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、平成29年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,154,364	3,821,430
売掛金	4,918,914	5,665,095
たな卸資産	48,738	42,015
繰延税金資産	330,455	287,081
その他	523,723	802,705
貸倒引当金	△9,453	△11,339
流動資産合計	9,966,744	10,606,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,453,444	2,500,172
リース資産(純額)	3,594,015	3,493,627
その他(純額)	634,547	832,363
有形固定資産合計	6,682,007	6,826,163
無形固定資産		
のれん	437,944	388,739
リース資産	6,689	3,324
その他	521,386	593,106
無形固定資産合計	966,021	985,169
投資その他の資産		
差入保証金	2,073,827	2,096,447
その他	1,146,941	1,220,522
投資その他の資産合計	3,220,769	3,316,969
固定資産合計	10,868,798	11,128,302
資産合計	20,835,542	21,735,291
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	433,753	482,217
1年内返済予定の長期借入金	885,638	797,015
リース債務	166,979	177,490
未払金	2,280,776	2,713,427
未払法人税等	286,833	201,337
賞与引当金	785,588	506,924
その他	459,885	697,446
流動負債合計	5,299,454	5,575,858
固定負債		
長期借入金	1,416,901	1,299,971
リース債務	3,874,881	3,788,321
退職給付に係る負債	968,884	1,052,064
資産除去債務	70,335	73,892
その他	144,903	148,816
固定負債合計	6,475,906	6,363,066
負債合計	11,775,361	11,938,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,510	1,731,510
資本剰余金	1,679,537	1,679,537
利益剰余金	5,640,742	6,348,461
自己株式	△50	△92
株主資本合計	9,051,740	9,759,417
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△72,073	△57,201
その他の包括利益累計額合計	△72,073	△57,201
新株予約権	75,637	88,791
非支配株主持分	4,877	5,358
純資産合計	9,060,181	9,796,366
負債純資産合計	20,835,542	21,735,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	27,886,709	29,724,404
売上原価	23,847,327	25,595,184
売上総利益	4,039,381	4,129,219
販売費及び一般管理費	2,453,777	2,524,343
営業利益	1,585,604	1,604,876
営業外収益		
受取利息	4,792	4,948
受取配当金	2,189	1,643
受取保険金	10,032	10,459
受取家賃	17,316	20,415
補助金収入	1,942	29,138
助成金収入	16,625	26,456
その他	11,012	12,628
営業外収益合計	63,910	105,690
営業外費用		
支払利息	125,336	123,776
持分法による投資損失	22,894	101,301
その他	21,501	7,845
営業外費用合計	169,731	232,923
経常利益	1,479,782	1,477,643
特別利益		
固定資産売却益	—	1,214
関係会社株式売却益	—	41,277
補助金収入	2,970	76,318
受取保険金	320	—
特別利益合計	3,290	118,811
特別損失		
固定資産除却損	915	2,190
固定資産圧縮損	1,303	66,726
減損損失	318	27,126
災害による損失	17,442	—
特別損失合計	19,980	96,043
税金等調整前四半期純利益	1,463,092	1,500,410
法人税等	599,089	496,333
四半期純利益	864,002	1,004,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	264	360
親会社株主に帰属する四半期純利益	863,738	1,003,716



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	864,002	1,004,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,702	—
退職給付に係る調整額	16,168	14,872
その他の包括利益合計	20,871	14,872
四半期包括利益	884,874	1,018,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	884,610	1,018,588
非支配株主に係る四半期包括利益	264	360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社ミレニアを連結の範囲に含めております。同様に、第1四半期連結会計期間において、メディسنショップ・ジャパン株式会社の全株式を売却したため、連結の範囲から除外してしております。

また、第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したBuurtzorg Services Japan株式会社を持分法適用の範囲に含めております。